

4

用語の定義と概念

血尿

尿中に赤血球が混入した状態。肉眼で確認できる場合を肉眼的血尿、肉眼では判別できない場合を顕微鏡的血尿という。

膀胱タンポナーデ

高度の血尿による凝血塊や組織片などが尿の排出を妨げている状態。

放射線性膀胱炎

放射線治療による膀胱の障害。膀胱粘膜の虚血に伴う血管内膜炎が進行性に生じ、粘膜に潰瘍が起こり出血する。

尿道膀胱鏡

尿道から挿入する膀胱内視鏡。金属の筒を用いた硬性鏡や軟性ファイバースコープ、軟性電子スコープがある。

膀胱持続灌流

留置した3way尿道留置カテーテルを通じ、灌流ルートを用いて持続的に洗浄液を膀胱内に流すこと。

下部尿路症状

尿の貯留や排出に関係する症状を広く意味する用語。排尿症状、蓄尿症状、排尿後症状の3つからなる。

排尿症状

尿の排出時にみられる、尿勢低下、尿線途絶、腹圧排尿、尿閉などの症状。

蓄尿症状

尿の貯留時にみられる、頻尿、尿失禁、尿意切迫感などの症状。

排尿後症状

排尿直後にみられる残尿感、排尿後尿滴下。

排尿困難

排尿しようとしているのに排出しづらい状態。正式には（下部尿路症状診療ガイドラインでは）排尿症状と定義される。

過活動膀胱

尿意切迫感を伴う、頻尿・夜間頻尿。感染や他の明らかな病的状態を認めないもの。切迫性尿失禁を伴うこともある。

頻尿

排尿回数が多すぎるという患者の愁訴。日中の排尿回数が8回以上あれば頻尿と考えてよい。

夜間頻尿

夜間に排尿のために1回以上起きなければならないという愁訴。

多尿

24時間尿量が2.8L以上もしくは体重当たり40mL以上ある、尿量の多すぎる状態。

尿意切迫感

突然起こる、我慢できないような強い尿意であり、通常の尿意との相違の説明が困難なもの。

尿失禁

尿が不随意に漏れることをいう。原因により、切迫性、腹圧性、混合性、溢流性、機能性、真性に分類される。

切迫性尿失禁

尿意切迫感と同時にまたは直後に不随意に尿が漏れること。

腹圧性尿失禁

運動や咳、くしゃみなどの際に不随意に尿が漏れること。

混合性尿失禁

切迫性と腹圧性の両者の尿失禁を有するもの。

溢流性尿失禁

尿排出障害のため膀胱内に顕著な残尿があり、常に膀胱が充満した状態にあるため、膀胱内の尿があふれて少しずつ漏れる状態。

機能的尿失禁

認知機能低下や身体運動低下のためトイレ以外の場所で排尿してしまう状態。

真性尿失禁

生来の解剖学的異常のために尿が膣などから常時漏れる状態。

骨盤底筋訓練（体操）

肛門挙筋、肛門括約筋、尿道括約筋、膣周囲の横紋筋からなる骨盤底筋群を随意に収縮する方法。

膀胱訓練

尿意が起きても5～10分間我慢してから排尿することで定時排尿、排尿間隔の延長を図るもの。

排尿記録（日誌）

排尿の回数、量、尿失禁の回数、量などを記録したもの。頻尿や尿失禁を有する患者のアセスメントに有効である。

経尿道的腫瘍切除術、電気凝固術（TURBT、TUC）

尿道より硬性膀胱鏡を挿入し、先端の電気メスで腫瘍を切除したり出血部位を凝固止血する手術。

経尿道的前立腺切除術（TURP）

尿道より硬性膀胱鏡を挿入し、先端の電気メスで前立腺を切除し尿道を広げる手術。

水腎症

腎盂や尿管が拡張した状態。尿路の通過障害が主な原因であるが、膀胱尿管逆流症でも水腎症を認めることがある。

無尿

1日の尿量が50～100 mL以下の場合。膀胱に尿の貯留がない。

尿閉

膀胱は尿で充満しているが、排尿できない状態。

腎前性腎不全

腎臓そのものの異常ではなく、心拍出量や循環血漿量の急速な低下のために腎血流が著しく減少して起こる腎不全。

腎性腎不全

糸球体腎炎などの糸球体病変や、抗生物質、抗がん剤などの腎毒性物質による尿細管障害、抗生物質や消炎鎮痛薬などによる過敏反応由来の間質障害による腎不全。

腎後性腎不全

腎からの尿流が体外に排泄されず水腎症を来し、水腎症による腎盂内圧の上昇のために尿が産生されなくなった状態。

ドレナージ

体内に貯留した血液、尿、浸出液、膿などを体外に導く方法。

尿管ステント

膀胱内から尿管内を経て腎盂まで挿入することにより、通過障害に起因する腎機能低下や感染の治療に用いられるカテーテル。

尿路変向

腎から尿管、膀胱、尿道を通して排尿されるという自然な状態から変更し、さまざまな方法で尿を体外に導くこと。手術が必要であり、腎ろう、膀胱ろう、回腸導管、尿管皮膚ろうなどの方法がある。

腎ろう

腎盂から腎実質，筋肉，体表を貫通し体外にいたる人工的なろう孔。多くは超音波ガイド下に経皮的に形成される。腎盂・腎杯に溜まった尿をカテーテルを通して体外に導く方法。

膀胱ろう

恥骨上より経皮的あるいは切開により膀胱から下腹壁を通し体外に至る人工的なろう孔。膀胱尿をカテーテルを通して体外に導く方法。

回腸導管

遊離した回腸の一部に尿管を吻合し，回腸の蠕動を利用して臍の右側に作成した排泄口（ストーマ）から尿を体外に排出させる方法。蓄尿の袋を皮膚に貼り付ける必要がある。

尿管皮膚ろう

切断した尿管を直接腹壁，皮膚を貫いて皮膚に吻合し，尿を体外に排出する方法。蓄尿の袋を皮膚に貼り付ける必要がある。

膀胱部痛症候群

膀胱充満に関連する恥骨上部の疼痛があり，昼間頻尿・夜間頻尿などの症状を伴う症候群で，感染や他の明らかな病的状態が認められないもの。

間質性膀胱炎

頻尿・尿意亢進・尿意切迫感・膀胱痛・骨盤痛などの症状症候群を呈する，原因不明で難治性の疾患。

下腹神経叢ブロック

直腸，子宮，膀胱などの骨盤内臓器の交感神経由来の痛みに対する疼痛治療法。

フェノールサドルブロック

会陰部の疼痛に対し，座位にてくも膜下腔に高比重フェノールグリセリンを注入することで，第4，5仙髄神経や馬尾神経をブロックする方法。

不对神経節ブロック

脊髄の最末梢に位置する交感神経節をブロックする方法。会陰部の交感神経由来の痛みの緩和に用いられる。

陰嚢水腫・精索水腫

精巣固有漿膜あるいは腹膜鞘状突起腔内に液体が貯留したもの。精巣周囲に液体が貯留したものを陰嚢水腫といい，精索に液体が貯留したものを精索水腫という。

単純性尿路感染症

尿路に基礎疾患がない状態で発生する尿路感染症。

複雑性尿路感染症

尿路の解剖学的構造あるいは機能の異常を背景に尿流の障害などの基礎疾患がある場合や，感染防御機構が破綻した患者に生ずる尿路感染症。

バイオフィルム

微生物が自身の産生する粘液とともに作る膜状の集合体。多糖類・フィブロネクチン・ビトロネクチンなどから形成され，抗生物質やリンパ球の菌への接近を妨げ，難治性感染症の原因となる。

ウロゼプシス

尿路感染症により生じた敗血症。尿路カテーテル留置や尿管結石が原因であることが多い。

ミルクング

排液チューブの中に溜まった液体（血尿，血液，リンパ液など）は，放置しておくとな凝固しチューブに付着して閉塞してしまうため，チューブを手で揉んだり専用のローラーなどを使い閉塞を予防する処置のこと。ミルクングの際にはチューブを屈曲させないように注意する。milking

紫色採尿バッグ症候群

尿道カテーテルを長期留置している患者にみられ，採尿バッグ（蓄尿バッグ）が紫色に染められる現象。尿中のインジカンが細菌によって色素になり，その色素が採尿バッグを染め上げる。purple urine bag syndrome

Fr.(フレンチ)

チューブ類の外径の直径を示すサイズ表示方法である。直径 mm 単位の3倍で表示される。18 Fr. サイズ = $(18 \div 3) =$ 直径 6 mm

3way 尿道留置カテーテル

膀胱持続灌流のための特殊なカテーテル。生理食塩水の流入，流出およびバルーンを膨らませるための3つのチャンネルからなることで3wayと呼ぶ。

清潔間欠導尿法

尿道留置カテーテル法の代替として，患者自身もしくは介助者により間欠的に導尿を行う排尿管理の方法。clean intermittent catheterization (CIC)

性機能障害

性欲，性的興奮，性交，オルガズムのいずれか1つ以上欠けるか，もしくは不十分なもの。男性では，性的欲求（リビドー）の低下，勃起する能力やその状態を持続する能力の低下（勃起障害），射精の障害，オルガズムを得る能力の低下などが当てはまる。勃起障害は，英語では，erectile dysfunction (ED) と呼ばれる。女性では，性行為への関心が減り興奮が困難になること，オルガズムの障害，性行為に関する痛み・挿入障害などが当てはまり，female sexual dysfunction (FSD) と呼ばれる。

Minds

日本の診療ガイドラインセンター。日本国内で発行された診療ガイドラインを評価選定し，その書誌

情報およびガイドライン本文を Web サイトにて公開している。Medical Information Network Distribution Service

PICO

患者の臨床問題や疑問点を整理する枠組み。P は patients（患者），problem（問題），population（対象者），I は interventions（介入），C は comparisons（比較対照），controls, comparators（対照），O は outcomes（アウトカム）を示す。timing と setting が追加されることもある。

エビデンス総体

研究論文などのエビデンスを系統的な方法で収集し，採用されたエビデンスの全体を評価し統合したもの。介入とアウトカムの組み合わせごとにまとめられる。body of evidence

臨床疑問

臨床上の問題，課題。患者アウトカムを左右する意思決定のポイントに設定される。clinical question (CQ)

デルファイ (Delphi) 法

回答者グループに，あるテーマについて投票を実施し，その結果をフィードバックすることを数回繰り返すことで，回答者グループの意見を集約・収束させる技法。一部の意見に引きずられないようにするため無記名で行われる。

(田中良典)

【参考文献】

- 1) 日本泌尿器科学会 編，泌尿器科用語集 改訂第4版，東京，金原出版，2011
- 2) 福井次矢，山口直人 監，Minds 診療ガイドライン作成の手引き 2014，東京，医学書院，2014